



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山崎 統司 TEL 06-6703-8400  
 経営企画本部副本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,881	△15.8	22	△98.8	△47	—	△283	—
2019年3月期第3四半期	23,608	4.3	1,863	21.7	2,158	27.4	1,237	△34.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △812百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 881百万円 (△53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△9.55	—
2019年3月期第3四半期	41.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	38,241	31,508	82.4	1,062.31
2019年3月期	39,668	32,893	82.9	1,109.70

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,508百万円 2019年3月期 32,893百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	11.50	20.00
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	△17.2	△520	—	△690	—	△1,060	—	△35.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8 ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	29,662,851株	2019年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,432株	2019年3月期	21,155株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	29,652,151株	2019年3月期3Q	29,641,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境について、コマーシャル市場は、国内では東京五輪に向けた設備投資意欲なども加わり需要は堅調に推移する一方で、中国/東南アジアでは、流通市場を中心にキャッシュレス化が浸透するなど貨幣処理機器需要の減速感が顕在化しつつあります。また、遊技場向機器市場では、パチンコホールにおける設備投資の抑制傾向が続いていることに加え、海外ゲーミング市場では、ドイツにおける法規制の改正による市況の停滞が顕著となるなど、事業環境は総じて厳しい状況下にあります。

このような状況において、ゲーミング市場向けには、カジノ向けシステムやテーブルゲームソリューションなど新規商材の提案活動に精力的に取り組み、東欧及び南欧市場の開拓を図りました。コマーシャル市場向けには、日本国内では、交通機関や宿泊施設等の整備に係る顧客ニーズを取り込んだことにより販売を拡大するとともに、キャッシュレス化が進行する中国や東南アジア市場においても、一定数の貨幣処理機器の需要が期待できる鉄道分野に注力した営業展開を行い、受注獲得に努めてまいりました。さらに、遊技場向機器市場向けの派生商品である分煙ボックスを、日本における受動喫煙対策等の問題に対応する製品として、他の市場や顧客に向けて拡販を行いました。

以上の各施策を実施したものの、前期の法規制前の需要に対する反動減の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間における売上高は、19,881百万円（前年同四半期比15.8%減）となり、さらに生産拠点の移転費用や、米国での追加関税、並びに、新製品・新規事業向け投資の研究開発費の増加などの要因も加わったことから、営業利益は22百万円（前年同四半期比98.8%減）となりました。

また、為替差損の計上もあり、経常損失は47百万円（前年同四半期は2,158百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は283百万円（前年同四半期は1,237百万円の利益）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル109.22円（前年同四半期は109.64円）、ユーロは122.39円（前年同四半期は130.66円）で推移いたしました。また、当第3四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル109.56円（前連結会計年度末は111.01円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①グローバルゲーミング

欧州地域におけるドイツでの需要停滞の影響により、紙幣還流ユニットの販売が大幅に減少となったことなどから、当セグメントの売上高は10,879百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント利益は1,557百万円（前年同四半期比49.1%減）となりました。

#### ②海外コマーシャル

新製品の紙幣還流ユニットの上市により、中国における鉄道の券売機向けに売上が増加いたしました。北米地域や欧州地域における金融機関向けの紙幣識別ユニットや紙幣還流ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は2,024百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。また、利益面では、研究開発費が増加したことなどから、セグメント損失は592百万円（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

#### ③国内コマーシャル

堅調な設備投資意欲に支えられ、ICカードチャージ機、ホテル宿泊費精算機、セルフガソリンスタンド精算機向け貨幣処理機器を販売したことに加え、分煙ボックスの販売が寄与したこともあり、当セグメントの売上高は2,166百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は367百万円（前年同四半期比41.3%増）となりました。

#### ④遊技場向機器

市場環境は引き続き厳しい状況が続いていることに加え、主力製品であるメダル自動補給システムの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は4,811百万円（前年同四半期比12.7%減）、セグメント損失は69百万円（前年同四半期は165百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,427百万円減少し、38,241百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,133百万円減少し、26,558百万円となりました。「原材料及び貯蔵品」が841百万円増加した一方で、「現金及び預金」が1,600百万円、「受取手形及び売掛金」が272百万円それぞれ減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて293百万円減少し、11,683百万円となりました。「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことにより、無形固定資産が307百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、6,732百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が329百万円増加した一方で、「賞与引当金」が218百万円、「未払法人税等」が129百万円それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,384百万円減少し、31,508百万円となりました。在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が555百万円、配当金の支払等により「利益剰余金」が876百万円それぞれ減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、たな卸資産の増加及び有形固定資産の取得による支出等の要因により、前連結会計年度末に比べ、1,600百万円減少し、9,748百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は358百万円（前年同四半期は2,104百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の増加額484百万円の資金の増加を計上する一方で、たな卸資産の増加額948百万円などの資金の減少を計上したものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は439百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出403百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は616百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。これは主に配当金の支払額592百万円等によるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額185百万円の資金の減少がありました。

## (3) 今後の見通し

今後の当社グループの業績動向については、現時点では、2019年11月7日付決算短信及び同日別途開示しております「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の公表数値から変更いたしておりません。

当社グループの第4四半期(1-3月)は、国内海外ともに季節的な減退期間にあたり、例年、売上高も四半期ベースでは最も低い期間にあたっていることから、売上・利益ともに低下する傾向にあります。加えて、当期においては、新型コロナウイルスによるサプライチェーンの停滞に伴う事業への影響が懸念されるほか、次年度以降の業績回復に備えた構造改革の実施による追加費用計上の必要性等について、現在精査中であります。

これらについては、業績への影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,368,448	9,768,048
受取手形及び売掛金	5,671,424	5,398,473
有価証券	89,989	33,598
商品及び製品	6,871,725	6,500,199
仕掛品	530,480	706,976
原材料及び貯蔵品	2,676,525	3,517,991
その他	647,191	789,082
貸倒引当金	△164,292	△156,271
流動資産合計	27,691,493	26,558,098
固定資産		
有形固定資産	5,009,214	5,037,006
無形固定資産		
のれん	1,811,880	1,617,594
技術資産	212,754	146,800
顧客関連資産	2,666,016	2,384,220
その他	87,203	321,907
無形固定資産合計	4,777,854	4,470,523
投資その他の資産		
その他	2,247,739	2,234,677
貸倒引当金	△57,961	△58,989
投資その他の資産合計	2,189,778	2,175,687
固定資産合計	11,976,847	11,683,217
資産合計	39,668,340	38,241,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,985,684	3,315,208
未払法人税等	658,329	529,142
賞与引当金	402,966	184,583
役員賞与引当金	18,000	—
その他	2,191,000	1,983,594
流動負債合計	6,255,980	6,012,528
固定負債		
その他	518,990	720,128
固定負債合計	518,990	720,128
負債合計	6,774,971	6,732,657
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,759,065	2,762,525
利益剰余金	28,300,111	27,423,997
自己株式	△19,143	△2,212
株主資本合計	33,256,978	32,401,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,162	289,308
為替換算調整勘定	△626,771	△1,181,905
その他の包括利益累計額合計	△363,609	△892,597
純資産合計	32,893,369	31,508,658
負債純資産合計	39,668,340	38,241,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	23,608,359	19,881,582
売上原価	14,445,916	12,171,039
売上総利益	9,162,443	7,710,543
割賦販売未実現利益戻入額	43,611	19,968
割賦販売未実現利益繰入額	12,766	33,972
差引売上総利益	9,193,287	7,696,539
販売費及び一般管理費	7,329,541	7,674,095
営業利益	1,863,745	22,443
営業外収益		
受取利息	5,761	4,724
受取配当金	19,269	22,050
為替差益	213,570	—
その他	58,412	28,000
営業外収益合計	297,013	54,776
営業外費用		
支払利息	467	3,482
為替差損	—	109,728
その他	2,223	11,526
営業外費用合計	2,691	124,737
経常利益又は経常損失(△)	2,158,068	△47,517
特別利益		
固定資産売却益	983	—
投資有価証券売却益	9,450	—
新株予約権戻入益	13,984	—
特別利益合計	24,417	—
特別損失		
固定資産除却損	1,473	7,891
投資有価証券評価損	—	24,254
減損損失	364,210	—
特別損失合計	365,684	32,145
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,816,801	△79,663
法人税、住民税及び事業税	704,573	215,450
法人税等調整額	△125,283	△11,995
法人税等合計	579,290	203,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,237,510	△283,119
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,237,510	△283,119

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,237,510	△283,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△237,011	26,145
為替換算調整勘定	△118,572	△555,133
その他の包括利益合計	△355,584	△528,988
四半期包括利益	881,925	△812,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	881,925	△812,107
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,816,801	△79,663
減価償却費	680,479	750,791
のれん償却額	139,895	138,500
引当金の増減額(△は減少)	△375,996	△245,549
受取利息及び受取配当金	△25,030	△26,775
支払利息	467	3,482
為替差損益(△は益)	△188,606	74,190
有形固定資産除売却損益(△は益)	490	7,891
減損損失	364,210	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,450	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	24,254
新株予約権戻入益	△13,984	—
売上債権の増減額(△は増加)	△418,335	117,997
たな卸資産の増減額(△は増加)	772,269	△948,712
仕入債務の増減額(△は減少)	△352,673	484,841
未収消費税等の増減額(△は増加)	219,563	△165,841
その他	296,878	△302,265
小計	2,906,980	△166,857
利息及び配当金の受取額	23,927	26,275
利息の支払額	△467	△3,482
法人税等の支払額	△826,039	△214,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,104,401	△358,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△111,060	—
有価証券の純増減額(△は増加)	△157	△706
有形固定資産の取得による支出	△384,523	△403,508
有形固定資産の売却による収入	1,545	—
無形固定資産の取得による支出	△23,242	△33,314
投資有価証券の取得による支出	△1,929	△1,674
投資有価証券の売却による収入	11,205	—
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△508,162	△439,213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△503,630	△592,669
リース債務の返済による支出	△29,966	△44,600
自己株式の取得による支出	△160	△370
自己株式の売却による収入	76	20,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533,681	△616,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	55,400	△185,681
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,117,956	△1,600,400
現金及び現金同等物の期首残高	8,888,786	11,348,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,006,743	9,748,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月23日開催の取締役会において、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議し、19,100株を処分いたしました。その結果、資本剰余金が3,460千円増加し、自己株式が17,301千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,762,525千円、自己株式が2,212千円となっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社についてIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表は無形固定資産のその他227,660千円、流動負債のその他49,720千円及び固定負債のその他178,327千円が増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,278,627	2,678,387	2,138,904	5,512,440	23,608,359	—	23,608,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,278,627	2,678,387	2,138,904	5,512,440	23,608,359	—	23,608,359
セグメント利益又 は損失(△)	3,057,352	△4,823	260,411	△165,520	3,147,419	△1,283,673	1,863,745

(注)セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

グローバルゲーミングセグメントにおいて、364,210千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,879,547	2,024,534	2,166,289	4,811,210	19,881,582	—	19,881,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,879,547	2,024,534	2,166,289	4,811,210	19,881,582	—	19,881,582
セグメント利益又 は損失(△)	1,557,228	△592,317	367,963	△69,909	1,262,965	△1,240,521	22,443

(注)セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。